

## ■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長  
白井 邦文



### ■ 人口減少について

少子化の傾向が定着しつつあります。必要があって、平成17年4月末日から平成28年4月末日までの11年間の山口県下の人口減少の状況を調査しました。県下には市が13あります。そのうち、途中で合併があり人口が大きく増えた3市(山口市、岩国市、美祢市)は除きました。残る10市のうち、約15%減った市が萩市と長門市、約10%減が柳井市、約7%減が下関市。次いで、光市、周南市と続き、宇部市が4.96%減、本市が4.80%減でした。下松市と防府市は、いろんな分野で善戦していますが、人口減の分野でも、防府市は1.29%減の2位。下松市は県下で唯一2.81%増の1位と光っていました。

人口減少をいかに食い止めるか、地方自治体にとって誠に悩ましい課題です。

### ■ ため池の応急修理をしました

この7月13日、本市の一部の地域で、1時間に50ミリの大雨が降りました。小野田地区にある自出湖畔町の、ため池に沿う唯一の生活道が裏山と共に、高さ15m・長さ20mにわたって崩落し、そのため幅3.5mの生活道がため池に落ちて姿を消し、町内の8世帯14名が孤立しました。職場にも通えず生活に支障が出たため、県外に住む所有者の了解を得て、本市の農林水産課と土木課が予備費(780万円)を充用して復旧工事を急ぎ、盆明けには車が通行できるようになり、9月20日、仮の道路が完成しました。地元には早期復旧を喜んでいただき、

ほっとしたところです。



完成した生活道路

### ■ 頭健康チェックと、頭の若返り

高齢者のみなさん!頭の健康チェック(MCI検診)を受けていますか。MCIとは、「認知症ではないが、その前駆段階にある状態」のことを言います。認知症は老化(加齢)と関係しますが、MCIのうちなら、頭の体操等で約50%の人の発症を防ぐことができるそうです。本市では今年から保健センターなどで集団検診を実施しましたが、全体の47%が「MCI(軽度認知障害)の疑いあり」でした。これらの人には、全12回の認知機能を向上させる取組みを企画しています。

繰り返しになりますが、加齢に伴い、誰もが認知症になる可能性があります。しかし、自分の努力で認知症の発症を遅らせることも可能です。是非、MCI検診を受けましょう。軽度なら、進行を遅らせることができます。そのための頭の若返り運動にも取り組んでください。そしてこれらには、本人の努力だけでなく、周囲の方のご協力が不可欠です。どうか何なりと、本市の地域包括支援センター(高齢福祉課内 ☎ 82-1149)にご相談ください。